

通信・放送確保訓練の振り返り勉強会を福井で開催

総務省北陸総合通信局（局長：吉武 久）は、平成29年3月17日（金）、平成28年度福井県総合防災訓練にて当局と連携して通信・放送確保訓練を実施した自治体及び放送事業者のご出席を得て「通信・放送確保訓練に関する勉強会」を福井市地域交流プラザAOSSAで開催しました。訓練の振り返りにより災害対応の手順や連携体制を再確認するとともに、地域防災力のさらなる強化に向けた今後の課題を議論しました。

開会に当たり、北陸総合通信局の瀬高隆裕防災対策推進室長が「今回の勉強会を通じて、福井県、あわら市、NHK福井放送局、福井街角放送(株)、北陸総合通信局の間の連携をさらに強化し、地域の安心・安全に貢献したい。防災訓練をきっかけとして、あわら市と福井街角放送が臨時災害放送局の開設に関する協力協定を締結されたことは大きな成果。」と述べました。

勉強会では、NHK福井放送局から、臨時地デジ中継局開設訓練の成果を発表していただきました。続いて、福井街角放送から、実際に訓練当日に放送したラジオ番組を再生しながら臨時災害放送局開設訓練



挨拶する北陸総合通信局 瀬高防災対策推進室長

の成果を発表していただきました。その後、災害時に住民向けの放送を確保する重要性や課題、その開設手順や役割分担について意見を交わしました。

参加者からは、「放送設備を設営して実際に電波を発射する有意義な訓練だった」「自治体が主体となって臨時災害放送局を開設するまでの一連の手順を体得することができた」「あわら市と福井街角放送による臨時災害放送局の開設に関する協力協定の締結によって災害時の住民への情報提供体制が強化された」などの意見が寄せられました。

今後の課題として、「臨時災害放送局が災害関連情報を継続的に放送できるような情報入手・伝達体制を検討しておくことが必要」「放送設備の設置場所や取付器具を予め用意しておくことが望ましい」「住民にラジオを聞いてもらうための広報活動の強化が必要」との意見も出されました。



勉強会の様子

勉強会出席者の皆様



福井県安全環境部危機対策・防災課(左から)吉田主任、嶋崎主任、鼎山主事、山本主事



あわら市総務部総務課安全対策室(左から)山口室長、炭谷主査



NHK福井放送局
鈴木様



福井街角放送(株)(左から)鳴尾様、有馬様



北陸総合通信局(左から)綿谷放送課長、竹田課長補佐

今後も当局では、災害時における住民への迅速かつ正確な情報伝達手段の確保に資するため、実践的な防災訓練の実施の他、このような勉強会の開催など自治体や放送事業者との定期的な情報交換に取り組んでまいります。

お問い合わせ先
防災対策推進室、放送課 076-233-4479